

シルバー ながの

第49号
2023.3月発行
SILVER
NAGANO

公益社団法人
長野県シルバー人材センター連合会
〒380-0841 長野市大門町51番地1
TEL 026-237-4680 FAX 026-237-5665



豊丘桜そのさと学校

モダンな校舎を彩る

市内屈指の名木・延命地藏堂の桜

須坂市街から県道346号線を走り破風高原を目指す途中、左手に見えるのが須坂市指定天然記念物「延命地藏堂の桜」です。品種はアズマヒガンザクラといい、4月中旬頃には四方に大きく伸びた枝から小ぶりの花を咲かせます。高さ5.6m、高さ10mに及ぶこの桜は、約450年前、川中島合戦の頃に植えられたと伝えられています。

かつて、この桜のそばには地藏を祀った延命地藏堂がありました。川中島合戦で父を失った姫が賊に切り付けられた際、この地藏が身代わりになって首を落としたという伝承があり、お堂が失われた今でも、その名は桜とともに親しまれています。

桜の向こう側に後ろ姿をのぞかせるのは、須坂市指定有形文化財「旧園里学校」です。明治16年に上高井郡園里村立園里学校の校舎として誕生しました。外壁は土蔵造、屋根は瓦葺と和風ですが、正面の玄関ポーチにはギリシャ建築を思わせる円柱、外壁の四隅には石積みを模した装飾を施す、洋風建築に似せて造った擬洋風の建物です。

ユニークながら懐かしい雰囲気を出す旧園里学校は、豊丘地域づくり推進委員会の協力で郷土資料館として活用されています。桜の美しい季節に、ぜひ訪れてみてください。

写真・紹介文提供 須坂市社会共創部

文化スポーツ課

問い合わせ 026-2248-9027

高齢者活躍人材確保育成事業

令和4年度事業の窓から

今年度は、周知・広報の講座7講座（予定9講座）、技能講習10講座（予定11講座）、就業体験4講座（予定5講座）という結果でした。センターの関係者や事業推進補助員のご尽力により概ね目標を達成することが出来ました。来年度も、シルバー事業の周知・広報と新規会員の拡大等に向けて一層の充実を目指して参ります。

受講者の声

庭木・庭園管理講習を受講して

上田市会場 早川 誠

講習前日、ワークマン上田国分店で生まれて初めて作業着を買った。ジーンズや登山用の服装を散々試着した後のことだった。

今年三月、四十年余り勤務した法務省関係の仕事を辞め、失業給付を受けつつ、上田地域シルバー人材センターに登録した。ここまでは想定内の範囲内。さて、登録はしたものの、これといった免許・資格もなく、いわゆる潰しがきくような仕事をしてきたわけでもない。登録後「仕事は何をするか」、「何をしたいか」全くと言っていい程イメージが湧いてこなかった。

そんな中、センターの入会説明会で事務局職員から本講習への申し込みを、半ば否応なく勧められた。これが私にとっては非常に有難かった。これまでの職歴が重石のように乗っかっていた、そんな私の背中を「どん」と押してくれた。この「どん」で何かが吹っ切れて、次の一歩が

踏み出せたような気がする。

講習では、「安全第一」を繰り返したけれど、いざ作業に入ると枝を切ることばかりに気が取られて「もしかしたら怪我、事故に繋がったかも」と想像される場面がいくつかあった。改めて「安全第一」を肝に銘じておきたい。

初めて実際剪定を行い感じたことは、「正解はない」ということ。裁量の幅が広



▲ 刈込方法と刈込鋏の使い方

いということか。一方で、「生き物」を扱う以上、樹木のことをよく知り、季節や場所など状況に応じた判断が必要で、知識の習得や経験の積み重ねが大事だ。

これらを身に付ける努力をしなければならぬと感じた。今回、講師をしてくださった造園関係の皆さんはどなたも優しい人柄が滲み出っていて、これも「生き物」を扱う職人が持つ気質の現れとも思われた。憧れる。

上田へ移住し二年目。就労の機会を探っている中でのこの講習の機会を得て、これを切っ掛けに就労に繋がられるか分からないが、何よりも、いろいろなところでいろいろな「人との繋がりを」これからは大切にしていきたい。最後にお世話になった皆さん、ありがとうございます。

庭木剪定講習を受講して

小諸市会場 小林 克之

以前2度座学での剪定講習を受けさせて頂き、実技での講習は前回コロナで中止となり今回やっと参加する事が出来ました。

初日、講師よりブルーシートの活用法や畳み方、又初めてバリカントリマーの使い方を習い、ハサミと違い楽で作業のスピードや効率の良さ、仕上がりの見栄えの良さを実感し、現在購入したくホームセンターを廻っています。実家にあるブルーシートを活用できますし、植木が好きだった亡き父が何枚も持っていた意味も理解できました。

2日目講習の講師からは、剪定バリカ

ンの使い方だけでなく使用後の手入れの大切さ、今まで使いつ放しだった私は、家に戻りすぐ手入れしました。確かにどんな分野も一流の人は道具を大切にしている。又、質のいいハサミの購入も教えていただきました。

3日目の講習でお世話になった講師には徹底して剪定の基本、ハサミの持ち方、切り方、バリカントリマーでは手が届かない細かい所の剪定を教えていただきました。

有意義な今回の講習は、参加して本当に良かったです。休憩中に講師が、シルバーでの仕事は、収入だけでなく同僚やお客様とのコミュニケーション等も楽しいと話してくださり、私も残りの人生やりがいのあるものにしていきたいと強く思いました。

今回の実技講習を学ばせていただき、ありがとうございます。



▲ 講習最終日に事務局よりシルバー人材センターのご案内

日常生活支援講習を受講して

中野市会場 森田 順子

健康で生涯生き生きと過ごすにはどうすればよいのかを座学で学びました。特に近年「フレイル」という健康な状態と要介護状態の中間の状態のことを指す言葉でTVなどでも時々取り上げられています。栄養不足などにより、筋肉量が減って元気に過ごすことができなくなってしまう状態とのことでした。

今までこのような事はあまり意識せず作ったり食べたりにしていました。食品をバランスよく選び、なるべくうす味にしてとることが大切だと思いました。

他に運動量についても、おっくうがらず動く事や、友達と会ったり趣味をもつて出かける等の社会参加も重要だと思いました。

手軽な材料で三種類の調理実習も行い、とても有意義な講習でした。栄養士の皆さんありがとうございました。



▲健康と食生活について

庭木剪定講習を担当して

連合会 事業推進補助員

和田 真純

長野県シルバー人材センター連合会では事業推進補助員としてお仕事をさせていただいて二年目となりました。普段は各センターの説明会や技能講習などの一部をお手伝いさせていただくのみですが、今年度は長野市で開催される庭木剪定講習の担当をすることになり、ドキドキしながら三日間の講習に同行させていただきました。

十月初旬やや雲行きが気になるお天気の中、会場の若里公園で講習が始まりました。事前にしっかりと準備をしたつもりが、いざ講習が始まると足りない物ばかり。慌ただしい中での講習開始となりました。普段開講式などお手伝いをさせていただいている各センターのスタッフや補助員さん達がいかに不足なく完璧に準備をされているのかを痛感した瞬間です。



▲庭木剪定講習(長野市会場)

講習は座学から始まり、半日かけてまず剪定についての知識を身につけます。普段は建物の中で行われることが多い座学ですが、ここでは公園内の東屋を使用して実際に剪定を行う樹々に囲まれた場所ので知識を学ぶことができました。天気は良いものの肌寒さもあって途中から日なたの芝生エリアに皆さんがそろって移動していたのが記憶に残っています。すぐ横には立派な枝ぶりの松の木、少し離れた所にはツツジやサツキなど講習テキストに載っている樹々がすぐ側にあったので本を読むだけでは得難い知識を深めるのに役立つ時間でした。

午後から残り二日間にかけて実技として公園内の樹々の剪定を行いました。今回の講習では長野シルバー人材センターで庭木剪定のお仕事をされているベテラン会員さんが交代で講師を務めてくださいましたが、先生ごとに個性あふれる内容で剪定について指導していただいたのが印象的です。大きなはしごから電動のこぎりなど剪定道具を詳細に紹介していただいたり、はしごの使い方やロープの縛り方を学んだり。また、お手洗いや手洗い場など実際に現場で仕事をする上で気になる点などを詳細に教えてくださる講師の先生の姿も。木を切るだけではない、剪定の仕事をする上で大切なことを私自身も学ぶことができ、大変勉強になりました。実際に剪定はさみを手に作業をする参加者の皆さんにも今後会員となってお仕事をする際を見据えて参考になることも多かったのではないかと思います。

長野シルバー人材センターのスタッフの皆さん、講師の先生方、そして講習の参

加者の皆さんのおかげで三日間の剪定講習が無事に終了しました。事業推進補助員としては入会率100パーセントに至らなかった部分がほんの少し残念ではありましたが、良い経験をさせていただいたことに感謝したいと思います。



▲剪定講習風景



▲脚立の安全な使い方をみっちり

合同就職面接会へのシルバー連合の参加

1月31日、松本市・松本商工会議所・松本公共職業安定所の共催による「松本地区合同就職面接会」が松本駅前のホテルブエナビスタ3階グランデにおいて開催され、連合会も松本地区シルバー人材センターと一緒に参加させていただきました。当日は製造業や医療・福祉など57社がブースを構え、人手不足の状況を反映し、求職者の採用に向けて会場は熱気に包まれていました。

冒頭、綿貫松本公共職業安定所長の主催者挨拶の後、連合会から配付した「シルバー人材センター活用術」のパンフレットでの高齢者活躍人材確保成事業の説明に併せて、シルバー事業の現状や就業体験などを通して新たな会員の獲得やその会員の就業先の開拓に向けての協力をお願いしました。企業の担当者の方からは、このような場にこれまであまりシルバー関係者が来る機会がなかったことやシルバーに対する見方や考え方が変わったことのご意見を伺いました。

この面接会は、一般求職者をはじめ子育て中の方、60歳以上の方、令和5年3月新規学卒予定者を対象としていたため、当日は様々な年代の方が120人近く訪れ、それぞれお目当てのブースで熱心に担当者と話されていました。

その中で、松本地区シルバー人材センターのブースにも6人の方が相談に訪れ、担当者からシルバーでの働き方や入会の仕方などについての説明を受けていました。

連合会の職員も空いている時間を狙っ



▲ 合同就職面接会

てブースを訪問し、企業の担当者やシルバー会員が就業できる業務があったら是非とも活用いただきたいと積極的にアピールをしました。

当日お願いしたアンケートには、シルバーにお願いしたい業務があるとの記載があったことから、早速松本地区シルバー人材センターに情報提供し、就業開拓の依頼をしたところです。

我々シルバー事業に携わっている側としては、高齢者活躍人材確保成事業でのテレビやラジオでのコマ・シャル放送や新聞広告、各種の講座や講習などこれまで行ってきた周知・広報を通してシルバー事業は相当認知されてきているのではないかと考えていましたが、一般の方々の理解度はそれほど深まっていなかったことを実感しました。県内21センターと

もに、あらゆる機会を活用して積極的に周知・広報を進めていくことが、企業などのシルバー活用機会の醸成とシニアの社会意識の向上に不可欠であることを改めて感じました。

関係者の皆様に改めて感謝申し上げるとともに、これからも様々な場面での連携をお願いしていきたいと考えています。

シルバー事業に寄せて

長野労働局職業安定部職業対策課

高齢者対策担当官 戸谷 謙一

日頃より高齢者雇用対策の業務運営につきましても格別なご協力を賜りお礼申し上げます。

我が国では今後労働力人口の減少等により、人手不足分野や現役世代を支える分野での担い手不足が問題となっている中、当該分野での高齢者の就業を推進するため、地域のシルバー人材センターの有効活用を図ることが大きな課題となっております。

また、地域のシルバー人材センターにおいてはコロナ禍における受注量や会員数の減少等、業務を運営するに当たり大きな影響を受けました。

一方で令和3年4月に高齢者雇用安定法が改正され、70歳までの就業確保措置が努力義務化されたことにより、企業での定年退職や再雇用期間満了による退職の年齢が引き上げられたことに伴い、シルバー人材センター入会会員の高齢化に起因する会員全体の年齢上昇による安全対策も大きな課題となっています。

今後、受注量や会員数をコロナ前の水

準に戻していくためには、まず企業や高齢者の方々にシルバー人材センター事業について正しく理解をしていただくということが非常に重要なポイントだと考えます。

高齢者の中には経済的な理由から必ずしも就業に積極的ではない者も多くみられますし、地域の企業の中には、未だ高齢者の活用に積極的でない、又は興味はあるがどのように活用してよいか分からない企業も存在します。

そのために高齢者活躍人材確保成事業によるシルバー人材センター事業の活用増加に果たす役割は重要であると考えます。

会員の確保という課題に対しては、「まずは知ってもらう」、「聞いてもらう」という点では説明会で事業を理解していただく事は効果的です。

ただし、今までの説明会については、広報等により申込みがあった方に説明を行う受け身のスタイルが一般的であったと思いますが、今後は外部に対してより積極的に発信を行うためには関係機関と連携した事業展開が重要と考えました。

そこで、就労希望を持った高齢者が定期的に訪れる場所でも、より周知の効果が上がるのではと考え、地域のハローワークとの連携をこの2年ほどで積極的に進めてまいりました。

おかげさまで地域のシルバー人材センターの皆様のご協力により、現在5拠点でハローワークとの連携により説明会や相談会を開催しています。

参加者からは「事業について詳しく知ることができた」、「草刈りや剪定だけでなく多様な職種を請け負っていることが

分かった」等好評を得ています。

また副次的な効果として、ハローワークの職員がシルバー人材センター事業について理解することが出来たことにより、高齢者の再就職が大変厳しい昨今の状況の中、収入等に大きなこだわりがない者については、ハローワークにある求人だけではなく、シルバー人材センターへの誘導という選択肢を持った上で窓口対応を行うこともできています。

高齢者に対する支援という同じ目的を持つている機関同士、今後もしも積極的に連携しながら、周知広報を展開できればと考えます。

今後は受注先の拡大というもう一つの課題につきましても、ハローワークとの連携により、お互いの充足できない求人・情報交換による、新たな就業先の開拓・確保や、先日松本で開催されたような事業主が集まる説明会等の機会を活用した周知広報についても積極的に進めていきたいと考えます。

高齢法の改正により多様な就業形態による就業確保が制度的に可能となっておりませんが、裏を返せば今の高齢者はまさに多様なニーズを持っているということになりますので、高齢者支援を行う機関はこの多様なニーズに答えられるような体制整備が必要と考えます。

そのためにはぜひ関係機関と情報共有を図っていただき、法律でいうところの「働く意欲のある高齢者がその能力を十分に発揮し、活躍できる環境の整備」実現のためご尽力、ご協力いただければありがたいと思います。

今後ますますのシルバー人材センター事業の発展をご祈念申し上げます。

損害賠償責任保険

財政がピンチ!

—事故を
減らしましょう—

剪定や草刈りなどの請負事業における事故に備えて加入している全シ協の保険が、多発する事故により損害賠償金が膨れ上がり、来年度から保険料を約20%引き上げなければならない事態となっています。

特に、草刈り作業中の飛び石による事故が非常に多く、件数で約54%、賠償金額の約60%を占めており、これを減らしていくことが急務となっています。

物損事故で済むならまだしも、もし人身事故になってしまったら大変なことで、後悔しても間に合いません。自分だけは大丈夫だという誤った考え方を捨て、「自分も周りも絶対に安全を確保する」という真剣な気持ちで常に作業に当たってください。

「もしあの時こうしていたら」では済まされない経験は誰もしたくありませんよね。



①きちんとした安全装備の装着で自傷事故防衛



②傾斜地における作業時はスパイク着用で



③蜂毒の抗体レベルの表示と刺された場合に仲間知らせるホイッスル



④無理のない姿勢での作業励行



⑤仲間と適切な間隔を保って、整然とした作業



⑥段ボールを利用した屋外機械などの飛び石保護



⑦仲間の飛散防止ネット保持のお陰で安心して作業



⑧構造物の保護で、キックバックの防止も



⑨看板設置で、通行人に注意喚起

公益社団法人
長野シルバー
人材センター

〒380-0814
長野市大字鶴賀西鶴賀町1481番地1
TEL 026-237-8315
FAX 026-237-8317
・理事長 酒井 登
・副理事長 福澤 成則
・専務理事・事務局長 藤橋 範之
・構成市町 長野市・信濃町・飯綱町
・会員数 2,085人(令和4年11月末現在)
・契約金額 938,769千円(令和3年度実績)

シルバーだより



NAGANO

地域の概要

長野シルバー人材センターは、会員数・契約金額ともに規模の大きなシルバー人材センターになります。

しかしながら、内情は会員の減少傾向・役員のなり手不足など多くの課題を抱えています。また、「新型コロナウイルス感染症」に配慮して、地域班活動を始めたばかりの活動を3年間も抑制せざるを得なかったことは、これらの課題を一層顕著にしました。

シルバー事業の理念「自主・自立・共働・共助」の基本は、やはり「会員同士のふ



会員が管理している「松代城跡」(長野市)
新年の飾りつけを行いました

れあい」があつて初めて生まれるものと改めて痛感しています。

これらの課題は一朝一夕に解決できるものではありませんが、今年度「地域班活動の課題解決に向けて」を議題に理事の懇談会を開催しました。また、「女性会員のつどい」を、今年度入会したばかりの女性会員を対象にして開催し、先輩の女性理事から「まず地域ボランティアにすべて参加しようと思った。そこから就業につながり、仲間もできた。」「自分で無理と思ってもできる仕事があるので、勇気を出して欲しい。」とアドバイスがあり、「前に進む勇気が出た。」という声が上がりました。こうして、少しでも前に進もうと取組を再開しています。

県内の各シルバー人材センター様それぞれ特色のある活動をされている事と思えますので、今後参考にさせていただきますと幸いです。

現在、特色のある事業があまりない当センターですが、事務所は善光寺へも徒歩で15分程度です。また、構成市町には四季折々に楽しめる観光名所もたくさんありますので、是非お立ち寄りください。



春の丹霞郷
(飯綱町)



家族連れでにぎわう
黒姫童話館(信濃町)

地域・活動の紹介



奉仕活動
春と秋 全地域班で実施

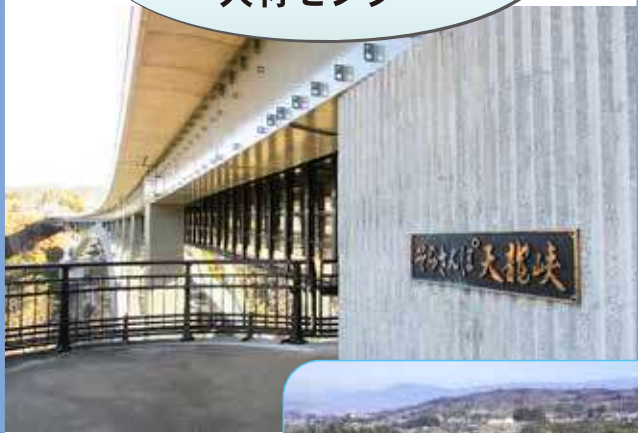


女性会員増を目指して!
(女性会員のつどい)



好評です! 整枝・剪定

公益社団法人
飯田広域シルバー
人材センター



名勝天竜峡に架かる天竜峡大橋
(そらさんぼ天竜峡)

〒395-0806 飯田市鼎上山1890-1
(飯田市役所鼎自治振興センター内)

TEL 0265-22-8690

FAX 0265-22-8655

E-Mail:ida@sjc.ne.jp

- ・理事長 山田 幹男
- ・専務理事兼事務局長 竹内 政弘
- ・法人設立 昭和62年2月
- ・構成市町村 飯田市・高森町・豊丘村・松川町・喬木村
- ・会員数 941人(令和4年12月末現在)
- ・契約金額 420,307千円(令和3年度末実績)

シルバーだより



IIDA

地域の概要

当センターが所在する地域は、日本の中央、長野県の最南端に位置し、古くから東西日本を結ぶ文化の回廊の要地として栄えてきました。今年からリニア中央新幹線長野駅(仮称)の整備工事も本格的な着工が始まり、この駅とその周辺が県内の各地域をつなぐ広域交通拠点として高度なトランジットハブを形成し、この地域が長野県の南の玄関口、三遠南信地域の北の玄関口の役割を担うこととなります。また、信州らしさ、伊那谷らしさを感じられ、多様な交流の要となる

地域を目指して、リニア駅周辺整備基本構想をベースに新しい地域づくりも進められています。

【独自事業の推進と新規開拓への取組】

当センターでは今年度から第5次中期計画がスタートしました。計画策定の段階では全会員を対象にした意向調査を実施し、会員の就業実態、満足度、要望等を把握し、様々な課題について検討・改善に役立てています。その調査の中で会員を増やすための方策として最も多かった意見が独自事業の新規開拓だったことから、現在事業化している「小中学生の特別学習教室」、「刃物砥ぎ」、「手作り門松」に加え、当地域の特色を生かした新

規事業の開拓を色々と研究しています。

今回は、長野県初のGIに登録された高森町市田地域発祥の「市田柿」に関連した就業についてご紹介しようと思いましたが、第47号で駒ヶ根伊南SC様にご紹介していただきましたので、もう一つの師走の風物詩である正月飾りの「手作り門松」をご紹介させていただきます。

【伝統文化の技術継承と

地域の世代間交流に貢献】

当センターで「手作り門松」の製作・販売を始めたきっかけは、平成12年に会員互助会の「秋の会員作品展」に、手先の器用な会員が趣味で作っていた手作りの門松を出展したところ予想以上の反響があり、地域でもこのことが口コミで広がって注文が殺到したことによりです。早速翌年には有志会員7人で「門松班」を立ち

上げ、年々受注が増えていったことから独自事業に発展して今日に至ります。また、平成23年には松本地域SC様のご協力により視察研修をさせていただき、作業工程や分業方法等のノウハウを学ばせていただきました。

現在班員は15人で構成し、種類も玄関用大型1対型・大型・中型、ミニ門松(大・小)等の他、松飾り、おやす、しめ縄など多種多様で、毎年、技能講習会を開催し、会員同士切磋琢磨して技を磨き、活き活きと製作に取り組んでいます。今年度は合計で221件の受注をいただき、約300万円の売上となりました。

また、会員の中には地元の公民館等での伝統文化親子教室の講師として指導に充っており、年々希薄化してきた世代間交流にも大きく貢献し、地域社会の活性化につなげています。



地域子育て支援拠点での「おやす作り講習会」



門松づくり講習会の様子

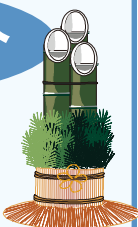
活動・地域の紹介



門松づくりの作業風景



児童養護施設へ門松の寄贈



安全・適正就業標語 受賞おめでとうございます

今年度は639作品の応募がありました。厳正な審査の結果、最優秀賞は飯山地域シルバー人材センターの徳永保雄さんの作品に決定しました。その他の優秀賞・佳作の入選作品は次のとおりです。会員の皆さんは作品に込めた入選者の思いを胸に、日々の安全作業に努めてください。

令和4年度

安全・適正就業標語入賞作品

最優秀賞 飯山地域 徳永 保雄

「声かけて

すべて摘み取れ 事故のもと」

優秀賞 駒ヶ根伊南 泉崎 教

「気を抜くな

慣れた場所こそ 危険個所」

佳作 上田地域 蓬田 美枝子

「まんねりが

安全意識 にぶらせる」

佳作 小諸北佐久 堀内 昭男

「ひとごと

任せず頼らず 危険予知」

佳作 飯田広域 山田 久吉

「危険予知

安全作業の 第一歩」

新しい仲間を 増やそう！

全国のシルバー会員数は皆さんのご尽力にもかかわらず11月末現在で約694千人と、前年同期から5千人以上減ってしまいました。内訳を見ますと、男性会員が約6千人減少したものの、女性会員は約8百人増えていました。これはシルバー関係者が一丸となって女性会員の増加にあらゆる面から努力した結果だと思われま

す。さて、わが長野県の現状をみますと、同時期で昨年同期から約3百人減ってしまいました。減少幅は1.7%強で、全国の減少幅0.8%の倍以上となってしまいました。

内訳では、男性会員が227人の減少、女性会員も72人減少ということで、女性パワーの増強もかなわなかったという状況でした。

確かに、新型コロナウイルス感染症による会員の退会や高齢者の外出自粛による新規入会者の減少といった原因による影響は大きい。加えて、雇用延長による退職年齢の上昇も要因としては挙げられるでしょう。

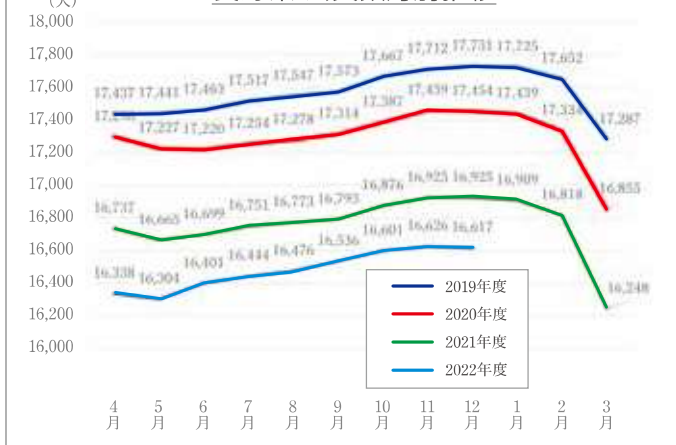
しかし、同じ状況においても、全国47都道府県のうち、13都県では会員数を増やしているという紛れの無い事実もあります。

新規の会員が増えないということは、会員全体の高齢化を招き、シルバー事業の将来に影を落とすことにもなりかねません。

一方、新規会員の入会は、異なる多様な経験や知識、職歴を持ったシニア層の増強であり、新規就業先の拡大はもとより、センター活動の活性化が大いに期待できます。これらが、相乗的に会員の退会抑止や就業年齢の上昇に結び付けられれば言うことはありません。連合会がシルバー事業の認知度の拡大や新規会員の増加に向けて毎年取り組んでいる「高齢者活躍人材確保育成事業」をもっと活用して、一緒に働く仲間を増やしていきたい

よう。特に女性向けの講座も多く開催しているので、女性会員の皆さんはご近所やお友達にお声掛けを頂ければ、その効果は抜群だと思います。うさぎ年にあやかっ

長野県 会員数月別推移



編集だより

昨年からの物価高の傾向がなかなか治まらない。燃料や小麦の高騰の原因はロシアによるウクライナ侵攻に起因しているということ

はよく耳にした。しかし、今はほとんど全ての商品価格が上昇傾向にある。加えて、円安の影響もボディーブローのように重くのしかかつて、日々の生活の不安を増長させている。何か明るい話題はないのかと見渡せば、労働賃金上がることが期待されている。経済はお金の循環であり、国民の購買意欲が高まれば、企業業績も上昇し、更なる賃金上昇が購買マインドをくすぐるという好循環が生まれる。翻って、その逆は企業が将来不安から内部留保を増やし、国民も貯蓄を優先し、消費を抑えるという悪循環である。どちらが良いかは問うまでもない。

シルバーにとっても、政府主導の最低賃金改定によりここ数年上昇が続いているが、物価上昇に見合っているのか否か。それは、シニア層の購買力に如実に表れるはずであるが、聞く範囲では芳しいとは言えないようである。加えて、高齢になる程体力低下や健康不安を強く感じることで、頼れるのは「お金」との思いも募り、節約傾向を強めてしま

う。儲かるという甘言に釣られて詐欺被害に遭ってしまうものもこの延長に感じる。明るい老後を夢見て頑張ってきた過去を振り返っても何も始まらない。後3年で団塊世代は皆75歳以上になるとい